

ルーツ」の講師 を担当していた だいた永嶋健彦 さんです。

去る7月に郷育カレッジ講座で 「津屋崎のルーツ」について、お話を させていただきました。受講生の皆 さんは熱心に私の話を聞いていただ き、後日、講座について、感想や要 望をいただきありがたく思っています。

健康であれば、次回に「筑前の浦々 の経済力」について、お話ができ ればと思っています。これは今から 約40年前に、私に郷土史の研究の 動機を与えてくれたアンネ・カラン氏 (オスロ大学教授) との出会いによる ものであり、その時、彼が残してくれ たレポートを教本にしてお話ができ たらと考えています。次回も気軽に ご参加ください。



ボランティアハウス・ふくまの月替わり 作品展に、お越しください。

#### 「クリスマス折り紙作品展」

日 12月1日(木)から12月9日(金) まで

開館時間 10:00~18:00

休館日 日・水曜日

問い合わせ ボランティアハウス・ふくま

**☎**42⋅9071

# 地域という名の家族 ~本町の子どもたち、大人たち

9月19日から23日までの5日間、本町公民館で通学合宿が行わ れました。台風の真っ只中、本町区の小学1年生から6年生までの子 どもたちが両親の元を離れて、区長の井村さんや実行委員長の日野さん をはじめとする地域の皆さんに支えられながら、のびのびと過ごしま した。そんな本町の通学合宿に、私たち福津市インターンシップ参加生 は、学生スタッフとして参加させていただきました。



▲牛乳パックを使って、みんなで工作



▲夕食の準備も自分たちでします。 包丁を使って材料を切るのは難し

1~6年生まで子どもたちはみん な仲が良く、遊びでも家事でも一人 一人が自分自身の役割を意識して行 動していました。子どもたちも毎日 精一杯過ごしていましたが、地域の 皆さんも、子どもたちのために毎日 精一杯支えていました。子どもたち を温かく見守り、叱る時はきびしく 叱り、一緒に笑う時は心の底から大 声で笑い合う。子どもたちも、大人 たちもぶつかり合い、心と心で対話 している姿を見て、私は、本町公民 館の中に一つの家族ができあがって いるように感じました。

私たちも、福津市でさまざまな体 験活動に関わっていく中で、地域の 皆さんと触れ合い、心からのコミュ ニケーションを作り上げていきたい と思います。



ボランティアハウス・ふくまでは、毎年恒例のクリスマスコンサート を開催します。今回は、オカリナ・二胡・ギター・ウクレレと盛りだくさん の内容です。

ぜひお誘い合わせの上、お越しください。

時 12月10日(土) 13:00~15:00

場 ボランティアハウス・ふくま

◆演奏内容 オカリナ(オカリナグループカモミール) 二胡(姜芎弥)

ギター・ウクレレ(レインボーキッズ)

問い合わせ ボランティアハウス・ふくま ☎42.9071



12月に次の講座を公開講座として開催します。カレッジ生はもちろ ん、カレッジ生ではない人も「郷育カレッジ」を試しに体験できるチャン スです。ぜひご参加ください。

## なごやかな 雰囲気づくり

初めて会った人とでも、打ち解ける 方法を体験してみたい人、必見!

地域や学校、人が集まるいろいろな場面で活かせるアイスブレイク (緊張・不安などを解きほぐす方法)を体験してみましょう!

◆日 時 12月7日(水) 10:00~12:00

◆会 場 市中央公民館 リハーサル室

師 市レクリエーション協会

◆定 員 15人

# 若者の手による 福津の未来づくりる

福津の将来を担う若者の考えてい ることや思いにふれたい人、必見!

福津の将来を担う若者たちが、「住みたい」「住み続けたい」と思う まちづくりについて、お話します。

◆日 時 12月14日(水) 10:00~11:30

◆会 場 カメリアホール2階 大研修室

◆講 師 NPO法人地域交流センター津屋崎ブランチ 山口 覚さん

◆定 員 15人

## 通学合宿って なあに?

子どもの体験活動の大切さを実例 を交えて聞きたい人、必見!

通学合宿は、子どもたちが親元を離れ、合宿しながら学校へ通う体 験活動です。さまざまな体験を通じて地域で子どもたちを育んでいき ます。実際に実践された地域の人に、活動内容やその中で生まれた感 動をご紹介します。

◆日 時 12月20日(火) 10:00~12:00

◆会 場 地区公民館

◆講師 通学合宿実践地区代表者 (コーディネーター 市地域生活指導員 橋内 京子さん)

◆定 員 15人

申込方法 11月21日(月)から電話にて受付(土·日曜日、祝日を除く)。 各講座、定員になり次第締め切り。

児 あり(詳細は問い合わせください。)

申込・問い合わせ 市郷育推進課(津屋崎庁舎) ☎52・4969







「郷育」の「郷」は、ふるさと や地域、自分たちの住んでいる ところと考えています。そして 「育」は、その地域によって育て られ、また地域を育てていく姿 をイメージしています。

郷育推進課 ☎52・4969

#### 平成23年度 郷育カレッジ生 募集中ル



広報ふくつ 6